

何でもトライ 田んぼ探検隊実施報告書(習志野市屋敷公民館)

● 2019年度参加13家庭 全4回参加総合計延べ人数 151人 (親子講座)

内、子ども82人 保護者69人 (父28人母41人)

● 協力 ほたる野を守るNORAの会 (里山の自然環境保護を目的とした地元の市民団体)

日時/ 会場	内容	実施結果
5月11日(土) 10:00~11:30 実籾本郷公園	親子田植え	・素足で田んぼの中に入り、土中の温かさを知った。 ・未就園児は保護者が手を添え、幼稚園児と小学生と横並びで親子で一斉に稲を植えた。(写真1) ・田植えの後は隣接している公園でお弁当を食べたり、川遊びで異年齢集団の交流を深めることができた。 ・NORAの会指導者から、お米がどうやってできるか、田んぼの仕組み、田植えのやり方の話を聞いた。親も一緒に話を聞くことで家庭に持ち帰り振り返ってもらう。
9月14日(土) 10:00~11:30 実籾本郷公園	親子稲刈り ・稲刈り ・稲を束ねる ・はざ掛け	・田んぼの泥濘があるところは稲を刈っている間に足が沈み、親子共四苦八苦して尻もちをつき、笑い声が田んぼに響いた。 ・稲架がけにするために藁で束ねる作業は主に保護者が行い、小さな子どもは保護者と一緒に稲架掛けを行うなど自然に作業を分担できた。 ・稲刈りの途中で、トンボやバッタなど田んぼ周辺の生き物を見つけ、自然散策等も楽しんでいた。
10月6日(日) 10:00~12:00 実籾本郷公園	田んぼの中で遊ぼう ・稲株を投げる株投げ ・弓矢での的当て ・竹ピストル ・ジャンボ南瓜重さ当て ・バードウォッチング	・ネイチャーゲームをしたり、竹や切り取った稲の株など、自然物を使って遊んだ。子どもたちは生き生きと遊んでいた。 ・細い竹の弓矢を引くなど、子どもでは難しい動作を大人が手伝ったり、株投げは大人対決、子ども対決にするなど、子ども中心の遊びではなく、大人も全員が参加し、親子で楽しんでいた。
12月14日(土) 9:30~13:00 屋敷公民館	お正月準備 ・門松、しめ縄作り ・箸置き作り ・もち米試食・感想文	・NORAの会の準備指導により門松、しめ縄を家族単位で作った。門松や、しめ縄を飾る風習を紹介し、紙バック牛乳で作った箸置きで正月を楽しみに待つ気持ちを伝えた。 ・収穫したもち米を参加者全員で試食して、収穫の喜びを味わった。1年を通して田んぼの作業をしているNORAの会に感謝の気持ちを伝える感想文や絵を自由形式で書いた。 ・前日準備、当日の荷物運び、試食準備、掃除など参加者が自主的に協力し、参加だけの受け身ではない講座となった。皆、笑顔で正月を迎えられそうだ。(写真2)

※全4回のシリーズを通し、親子での貴重な体験、交流の場となっている。担当者が、

10年前から継続している事業で地元の親子に好評である。ローカルTVでの特集や3年前から地元の小学校の課外授業としても実施され公民館事業として影響を与えている。

受講生の感想：とてもよい体験ができた。来年3月で公民館閉館のため、さびしい、今後参加できなくて残念。

4回全てが楽しかった。親子でよい思い出となった等。